

「防災緑地での植樹祭から

三月月。ずいぶん久しぶりな
気がするね」。福島県広野町

の二ツ沼総合公園の一角。ガ
ラス張りの三角屋根のしゅれ
た建物に、六月三十日、いつ
もの顔ぶれが集まりました。

東京から、いわき市から、そ
して広野町から……。本年度の
「広野わいわいプロジェクト」(福島県「ふるさと」・き

東北 復興日記



▶▶ 188

まだまだ



特定非営利活動法人
ザ・ピープル理事長
吉田恵美子さん



広野町民の新事業を応援

「ずな維持・再生支援事業」の
のキックオフミーティングが
催されました。

プロジェクトの目的は、広
野町に新たななごわいと交
流、そして新たな仕事を生み
出すこと。ひろのパークフェ

「プレセントツリー」による
防災緑地への植樹・育樹、オ
リーブやオーガニックコット
ンを生かした地域産品づくり
などを展開します。前年度
は、同様の取り組みを復興庁
「新しい東北先導モデル事
業」として実施、一定の成果
を収めました。一番の成果

は、この春、新しい活動主体
NPO法人広野わいわいプロ
ジェクトが産声を上げた。写
真のことです。

広野町では、二〇一一年九
月に避難が解除されました
が、なかなか住民の帰還が進
みません。これまでに帰還し
たのは五千人強の町民の約半
数。今、町には震災前とほぼ
同数の人が住んでいます。が、
その半数は原発事故の収束や
除染、復興工事関係の作業員
の人々で、町の日常は震災前
と随分変わったといえます。
本年度は、広野町民が自主
運営する事業を、私たちが応

援させていただきます。キッ

クオフミーティングの司会は
NPO法人広野わいわいプロ
ジェクト事務局長が務め、七
月二十四日に催される本年度
第一回の広野町へのポランテ
ィアバスの運行について意見
を交わしました。広野町の女
性たちも三人顔をそろえ、発
言しました。広野町の方々の
アイデアで組み立てられたポ
ラバスです。ぜひこの機会に
参加しませんか。詳細はフェ
イスブック＝<https://www.facebook.com/events/1743417235874520/>＝。

※この連載は、東京のN
PO法人JKSKと、被災
地の女性たちが協力して復
興に取り組む「結核プロジ
ェクト」の協力を得て、掲
載しています。